

A black and white photograph showing two men in suits standing near a car. The man on the left is wearing a dark suit and a patterned tie. The man on the right is wearing a dark suit and a dark tie. A woman is visible in the background near the car.

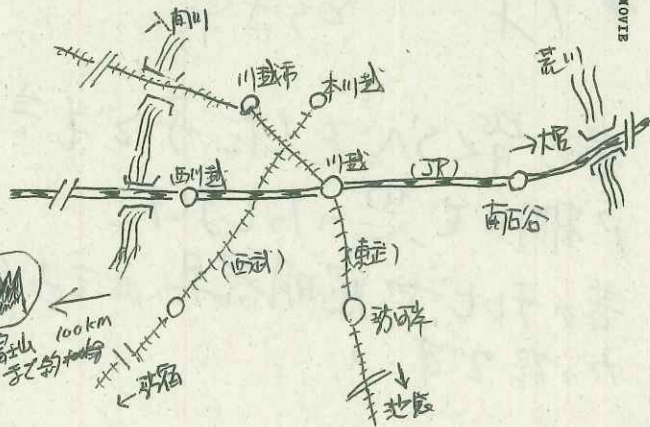
アカカブの会の記録 2023 no.1



(有) 38戈 月黑区上月黑
(1979. 昭54)

(11) 富士山は——

富士登山はとうとう夢でした。バスで5合目まで行き、あたりで
最後は歩いて上った。富士山は日本列島のどこから見ても話題に
なりますが、私は「東京」のために毎週行く埼玉・川越市
（三毛）
から見える富士山の話をします。市街を抜けるとほとんど
田舎がひろがり、どの電車の窓から見えます。とりわけ
10月と5月と11月の晴天日には雪でくもった富士山
はよく見えます。めでたします。川越に来たらぜひ！



⑦ 世田谷区三宿

(有) 45歲 世田谷區代田

(い) 映像を観て思い出したこと。
子煩悩であったお祖父さまを中心に
家族みんながやかに過ごした頃を
思い出した。

(5) 89歲

世田谷区代田



世田谷7口ニ7ル

Setagaya Chronicle 1936-81

世田谷文化・生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

せたがやアスカの全 The setagaya akasaka circle
穴アスカにおいてデジタル化した映画を、じっくり観なが
ら観り合う小さな集いの場。ほぼ毎月で開催。開催予定、上
映内容は、生活工展HPまたははてお問合わせからに確
認下さい。一見さん大歓迎。本誌とかぶうすら、やまいも
なびとは、当巻の断片的、公式活動記録

2, 富士山は、終戦直後は東京の多くの文芸家に見えなかった。人形町から青洲橋、新大橋の見えるあたり、焼野原の東京でしか

947

6

1) 生まれていい、青森県

2) 小学校6年生の頃に家が建て替わった人ですが、古い家の柱に兄弟3人の背丈をマジックで記録したりしていた。
 なつかしい思い出が土手に入りました。
 もっと古い家の写真を撮ってあげればよかったなと後悔しています。
 それでも新しい家には兄弟3人自分の部屋ができて、
 壁紙と好きなものにしてくれたりして
 親が自分を尊重してくれたことが改めてわかり、
 家族に好まれていたなという気持ちになりました。

3) 39本、月黒区



世田谷ノ口ニナル

Setagaya Chronicle 1936-83

